広報
さめがわ

昭和49年
11月号
No.252
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町 佐藤印刷所



畜産の王座はゆるがず・にぎやかなこの祭典！

畜産物価格の低落、飼糧の高騰など、畜産の危機を叫ばれるきびしい環境にありながら、村の畜産祭り第27回畜産共進会は、秋晴れの11月7日、畜産センターでにぎやかに開かれました。

乳用牛の頭数減はさびしさを感じさせたが、品質管理は一段と向上。肉用牛は阿武隈山系拠点開発事業が実施段階に入る気勢に推されてか一段と気運の盛り上りを見せ、県共でグランドチャンピオン賞を獲得した北芳号も参考出陳され、福島県一を誇る優秀体系ここに集る盛観を呈しました。

- ⊙ 1日　交通事故ゼロ、歩行者優先の日
- ⊙ 11月26～12月2日　全国秋季火災予防運動
- ⊙ 毎月5日　交通事故相談日（白河地方行政連絡室）TEL 白河 (2)1550
- ⊙ 毎月10日　防　犯　の　日
- ⊙ 第3日曜日は『家庭の日』

今月の人口

（11月1日 現在）

人　口	6,148	（＋ 9）
男	3,085	（＋ 4）
女	3,063	（＋ 5）
世　帯	1,179	（－ 5）

災害にあったとき 弔慰金 援護資金 を受けられます

自然災害で死亡した村民の遺族に災害弔慰金を支給したり、また、被害を受けた世帯の世帯主に災害援護資金を貸付けることができるような新制度を、村の条例で発足させました。

○災害とは

暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波その他異状な自然現象により被害が生ずることをいいます。

○弔慰金の支給

自然災害により死亡者がでた場合、遺族に対して死亡者一人につき五〇万円を支給されます。

但し、村内で住居の滅失した世帯の数が五以上となつたとき、または、県内で災害救助法が適用された市町村が一以上ある場合の災害でないと適用されません。

○災害援護資金の貸付

自然災害により住居、家財等に受けた損害の程度により最高五〇万円の貸付けが受けられます。

但し、県下で災害救助法が適用された場合とされています。

村政の窓 (43)

阿武隈山系開発事業実施期に入る

村長 石田卯子八

一〇月二八日の官報で阿武隈南部区域農用地開発公団事業の事業実施方針の概要が、農林大臣倉石忠雄の名で公表されました。

県と東北農政局の五ケ年に及ぶ調査を経て、いよいよこの事業が国の農用地開発公団によつて実施されることになつたわけです。

この公表は、農用地開発公団法の定めに従い、所管大臣が開発の基本方針や、場所、事業の内容などを一般に周知するためのものです。

先づ第一に、基本方針を述べていますが、この区域に畜産の濃密生産団地を建設することを目ざして、地域内の広大な低位利用、未利用の山林原野を牧草地として開発するとしております。

主として、肉用牛飼養のための共同利用施設を建設して、畜産農家の経営規模を拡大し、畜産物生産の合理化によつて、農業者の所得の増大と経営の安定を図るものであるとし、農用地造成の目標はおおむね一、〇〇〇ヘクタールの山林原野を対象として、そのうち六〇〇ヘクタールを造成したいとしておりますが、地形その他の関係で現実には若干下廻ることも考えられます。

これに要する費用は凡そ三〇億円、工期は約五年間となつております。

長い間私たちが要望し念願してきたこの事業が、阿武隈山系三四市町村の中で東白川地方が先づ選ばれ、しかもそれが鮫川村、塙町の一部から先鞭をつけられることになつたのは、多くの人たちの多年の苦労がこのような形で報いられるわけで、深くよろこびにたえません。

局地的にはまだ困難な問題もありますが、住民の皆様が、この機を失せず積極的に協力参加されて国の定める指標に添い、農家経営の安定と向上に進んで頂きたいのであります。

また、これと期を同じくして、当初からの二大目標であつた山系地域を縦貫する幹線道路が、国道に昇格認定されることが、一一月五日、建設省の道路審議会できまりました。

鮫川村地内の経過路線は村道であつたため、国道昇格は絶望視されていたのでありますが、急遽県道昇格が実現し、続いて国道昇格に追い上げたもので、奇跡的ともいえる朗報であります。

路線が認定になつても、建設の段階で種々問題があり、これからの建設期成運動が重要な課題となりますが、この際格別のご配慮とご尽力を頂いた、亀岡建設大臣に深く感謝の意を表し、県選出国会議員、県当局、その他関係各位に厚くお礼を申し上げたいと思います。

自治大臣から 名誉の表彰

村選挙管理委員会

さる七月七日執行の参議院議員通常選挙に際し、鮫川村選挙管理委員会の事務が優秀と認められ、優良選挙管理委員会として自治大臣から表彰され、一一月一四日表彰の伝達を受けました。

有権者皆様の理解あるご協力の賜と深く感謝いたします。

鮫川村選挙管理委員会

おめでた

十月

真坂 金沢 賢嗣 父金沢一四
田苗下 蛭田 亜紀 〃蛭田 守
水口 市川 珠江 〃市川正尚
青生野 笹島 敏 〃笹島光儀
菅野目 大竹 守 〃大竹洋喜
西野内 関根由起子 〃関根 正
彦次郎 赤坂 国子 〃赤坂一郎
岩野草 坂本 美香 〃坂本忠雄

おくやみ

十月 世帯主

鍬木田 坂本トリ 53才 坂本重男
官代 宗田与七 89才 宗田一男
新宿 矢内キヨ 81才 矢内かほる
大戸中 小松キク 75才 小松 保
新宿 小松マサノ 49才 小松 誠
岩野草 根本栄次 15才 根本栄市郎

秋の叙勲に光る
勲五等双光旭日章を受章
石田村長叙勲の栄誉

菊香る一一月三日の文化の日、秋の生存者叙勲に際し、石田村長さんは、多年にわたる地方自治の功績顕著である故をもつて、勲五等双光旭日章を国から贈られました。

このことは、町村長として最高の栄誉であつて、村民こぞつて喜びにたえないところです。

去る一一月六日には知事公館で木村知事から勲記と勲章が伝達され、また、同月一五日には夫人同伴で、皇居において天皇陛下の拝謁を受けられました。

石田村長さんは喜多方市慶徳の生れですが、県立農業技術員養成所を卒業後、大正一四年に本村の農業拔手兼農業補習学校助教諭として着任され、その当時は昼間は各農家を巡つて農業の指導に当り夜間は村内各地域の青年教育に尽力されました。

その後、公立青年学校長、中学校長、県立高等学校鮫川分校主任等を歴任され、昭和三〇年四月鮫川村長に当選以来、現在まで五期一九年八ヶ月の長期に亘つて、村勢の振興に活躍を続けておられ、前後五〇年に及ぶ人生を鮫川村の発展に貢献して来られました。

また、その間数期にわたり東白川地方町村会長を歴任し、現在は全国山村振興連盟副会長、同福島県支部長、福島県阿武隈山系開発促進協議会副会長、阿武隈縦貫国道建設期成会会長、福島県農業会議員等の要職を担当され、寸暇もない献身的な活躍を続けておられます。

（総務課）

むり・むだを　はぶこう
「ものを大切にする」運動実施

近年は「高度大衆消費時代と呼ばれるような大量消費の世の中になつております。

しかし、昨年秋の石油危機以後の物不足と物価高騰は、私達の生活に深刻な影響を及ぼしました。大量生産、大量消費の下で使い捨て時代といつた風潮が習慣化し、「ものを大切に使う」「ものの生命を尊ぶ」という考え方が忘れ去られ、資源の有限性や有効活用について、深く反省しなければならない時期が来ました。

資源が無尽蔵であるかのように錯覚したことが、今日の物資不足を招く原因となつたのです。この事態に対処するため、これまでの「消費行動」を反省し、「限りある資源で豊かな生活」を確立するため、「ものを大切にする運動」を実施することになりました。

これから、この運動を推進するため、皆様の積極的なご協力をお願いします。

自主納税推進運動
11月1日～12月25日

納税は自から　すすんで　納めましょう。

一一月一日から一二月二五日まで、県と共催で自主納税推進運動を展開しております。

村が各種の事業を行うには常に「最小の経費で最大の効果をあげよう」と日頃努力いたしております。

税金は村民に対する種々の行政を行うため皆様の能力に応じ納めていただくもので、税金を徴収する経費は少ないほどよいわけです

納期限が経過しますと督促状とか、職員が出張徴収するとか、余分な経費がかかります。このような経費が不用となるようにご協力をおねがいします。

納税は自から進んで納期内に納付するという「自主納税」を常に心がけて頂き、完納の村の実績を更に向上して行きたいものです。

国民としての義務である納税を果し、明るく、住みよい、豊かな村づくりに御協力下さるようお願いします。

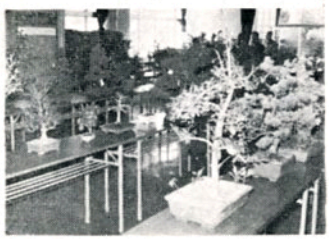
今月の納税

固定資産税　第三期分

納期限　11月25日



村の盆栽愛好会が主催する盆栽展は、10月24日から3日間村公民館を会場に開かれました。出品総数180点でどの作品も立派なものばかり、今年は参観者も多く盛会でした



年末も間近かです。
し尿処理は早目に
申込みましょう!!

狩猟解禁
事故と違反をなくそう

一一月一日からハンター待望の狩猟が解禁となりました。今年も事故防止にはくれぐれも注意しましょう。

1 水平撃ちはしないこと。
2 矢先に人がいると思われる場所や、跳弾のおそれがあるときは発砲しないこと。
3 自分の使用している実包の飛距離を良く知つておくこと。

少しでも多くの獲物を——という意識が、ルールやマナーを忘れる誘因になります。

無免許運転をなくそう

先月二〇日、村内で無免許のバイクを運転中、カーブをまがりきれず川に転落し死亡するという痛ましい事故がありました。死亡者は、年若い少年でした。死亡者の冥福を祈るとともに二度とこのような悲惨な事故のおきないよう、保護者も周囲の方も十分注意して下さい。

（駐在所）

知事表彰を受ける
石井草国民年金組合

一一月一一日、福島市で開催された第九回福島県国民年金大会の席上、石井草国民年金組合に、県知事から感謝状と記念品が贈られました。

石井草組合は、被保険者数が多く、地域も散在していますが、組合員の方々が、国民年金制度に深い理解をもち、毎度納期内完納の成績を納め、他の模範となつております。

秋の全国一斉火災予防運動

生活の一部にしよう 火の点検

一一月二六日から一二月二日まで全国一斉に、火災予防運動が展開されます。これからは暖房器具など、火の取扱いが多くなり、また空気が非常に乾燥してきます。

お互いに次の事を守り火災を起さないよう注意しましょう。

一、暖房器具は、安全を確認してから使いましょう。

二、老人、幼児、病人は避難しやすい場所に寝かせましょう。

三、たばこの投げ捨て、寝たばこはやめましょう。

四、子供の火遊びには十分注意しましょう。

五、いつも水バケツや、消火器を準備しておきましょう。

火災を出さない為には、家庭における家族一人一人の火の元に対する注意が何より大切です。

（消防署鮫川出張所）

ご注意
各種証明書の交付申請

最近各種の証明や謄抄本の請求が多くなつていますが、これらの請求には次の書類が必要ですからご注意下さい。

◎転出証明書の請求

印鑑、健康保険者証のほか、転出先の住所（番地まで）および世帯主の氏名がわかるもの。

◎印鑑証明書の交付申請

本人が申請するとき

印鑑登録済証

代理人が申請するとき

必要な証明書の「印鑑登録済証」のほか、代理人選任届又は委任状。

（委任状の場合は、五〇円の収入印紙が必要です）

これらの書類がないと交付できないことになつています。なお不明の点は、住民課（戸籍住民係）に電話などで問合せ下さい。



円井イネさんに村長賞

第6回鮫川村菊花展は11月5日から3日間村公民館で催されました。

昨年から愛好会や社会学級ですすめている菊作り一鉢運動の効果もあつて、出品総数140点。会場一ぱいの作品は見事で、参観者の目を楽しませました。

審査の結果各部門毎の優等入選者は次のとおりです。

◦競技花厚物の部
優等賞（村長賞）円井イネ
◦競技花細物の部
優等賞（議長賞）矢内文雄
◦一般花の部
優等賞（教育長賞）矢内文雄
優等賞（商工会長賞）矢吹孝之助
◦一鉢運動の部
優等賞（教育長賞）関根銀治

盛会だつた
県老人作品展示会

今年も県老人作品展示会を、県白河社会福祉事務所、老人クラブ連合会の主催で、一〇月二九日三〇日の二日間白河市十字屋デパートで開かれ、本村から一二名の方が出品され、よい成績をあげられました。

入賞者は次のとおりでした。

◎銀賞
金沢伊佐男（ねこだ）

◎銅賞
我妻 国雄（背負縄）
下重 重信（置物）

東白川地方公衆衛生大会
盛会に開催される

「健康で豊かな県民生活」のスローガンを掲げ、保健衛生の改善と向上をめざして、第九回東白川地方公衆衛生大会が、去る一一月一一日塙町公民館で開催されました。

その席上富田地区が、環境の美化に努め、又各種検診事業に積極的に協力して検診率を高め、保健と、公衆衛生の向上に努めている実績が認められて表彰されたものです。

また保健委員の生田目忠之助さんも、保健委員として地区の環境衛生事業に貢献されたことを認められ表彰されました。

成人の感想文募集

来春成人となる方々の感想文を募集しております。

四〇〇字詰め原稿用紙二枚に、成人となる感想を記し、次により提出して下さい。

記

提出期日 一二月一〇日（火）
提出場所 鮫川村公民館

■水道の管理にご注意■
不凍栓をお忘れなく!!

これからだんだん寒さがきびしくなると、ちよつとした不注意で蛇口や水道管が破裂し、水が使いないという事故がおきます。今のうちに水道管等の保温設備をして寒さに備えて下さい。

水道のメーターも凍結するとこわれますので、メーターボックスに発泡スチールか、稲わらなどを入れて保温して下さい。布類は逆効果のおそれがあるので使わないようにお願いします。

◉寝る前に必ず不凍栓を使つて完全に水ぬきをしましょう。

◉簡易水道の漏水を発見した時は役場住民課に至急連絡して下さい。